

(科目コード : 8500820005JJ)

【改訂】第31版 (2013-03-21)

【科目】情報数学

【科目分類】 専門科目 【選択・必修の別】 必修

【学期・単位数】 通年・2単位

【対象学科・専攻】 電子情報 5年

【担当教員】 前期 : 荒川 達也

後期 : 荒川 達也

【授業目標】

- [1] 集合と関数を理解し、2つの集合が対等であるか否かを判別できること。
- [2] 命題と述語を理解し、対偶法、背理法、数学的帰納法を用いて証明が書けること。
- [3] 集合と関数を再帰的に定義できること。
- [4] 代数系および同値関係と順序関係を理解できること。
- [5] グラフの道と連結度、木の性質を理解できること。
- [6] 有限オートマトンと正規文法を理解できること。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は45時間である。

離散数学は有限の対象ないしは離散の対象を扱う数学の一分野で、計算機科学の礎の1つである。この科目では、集合と関数、数学的帰納法と再帰的定義、集合上の関係、代数系、グラフと木、有限オートマトンについて学ぶ。

【教科書・教材・参考書等】

教科書 : やさしく学べる離散数学 : 石村 園子 : 共立出版 : 978-4-320-01846-4

【メッセージ】

離散数学は他の多くの分野の基礎です。概念の理解と、証明方法や計算方法などの両面からしっかりと理解して下さい。

【成績評価方法】

[前期] 中間試験 : 50% , 期末試験 : 50% , レポート : 0%

[後期] 中間試験 : 50% , 期末試験 : 50% , レポート : 0%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	1 集合と関数に関する基本的な知識を理解し、簡単な応用問題が解けること。	25 %	定期試験により25%の評価を行う。
2	命題と述語に関する基本的な知識を理解し、簡単な応用問題が解けること。	25 %	定期試験により25%の評価を行う。
3	代数系および同値関係と順序関係に関する基本的な知識を理解し、簡単な応用問題が解けること。	25 %	定期試験により25%の評価を行う。
4	グラフ理論および順序機械に関する基本的な知識を理解し、簡単な応用問題が解けること。	25 %	定期試験により25%の評価を行う。

【本校の学習・教育目標】

(B-1) 工学の基礎となる自然科学の科目を理解する

(B-2) 基礎工学科目の学習を通して、工学の基本を身に付ける

【授業計画】 (情報数学)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回～第7回	集合と論理	・集合の基本事項 ・命題論理 ・述語論理		
第8回～第15回	関係と写像	・同値関係 ・順序関係 ・写像		
第16回～第22回	代数系	・代数系 ・順序関係と束		
第23回～第30回	グラフ	・グラフ ・木 ・有限オートマトン		